

基礎期通信「ひたまり」

市立札幌開成中等教育学校

基礎期通信 NO.13

2020.12.03.(Thu.)

あと4週間で冬休みに入ります。

12月4日(金)の学校公開日「DP/IP 説明会」がコロナ感染者増加により、中止になりました。そこで、今号ではDPについての概要を掲載します。

1. DP (Diploma Programme)とは～DP コーディネーター野村先生より～

Middle Years Programme (以下MYP)は16歳までのプログラムですが、MYPに続くプログラムのひとつとしてIBはDiploma Programme(以下、DP)を用意しています。DPでは、各教科において専門的な学問領域における枠組みを学び、大学に向けた基盤を作ることはもちろんですが、課題論文(Extended Essay)で特定の分野について学問的論文を執筆し、知の理論(Theory of Knowledge)で知識そのものの性格について学びます。創造性(Creativity)・活動(Activity)・奉仕(Service)では、DPでの学びを結びつけて実社会で行動することが求められます。

つまり、DPでは「大学やその先の教育、そして将来選択する職業で必要とされる基本的なアカデミックスキルのほか、充実した目標ある人生を送るために必要な価値観や生活スキルを身につけること」(「Diploma Programme: From principles into practice」IB, 2015)を目指しており、一人の人間として成長することが期待されているプログラムです。

それでは、DPを修了した生徒は社会からどのように評価されているのでしょうか。例えば北米の4年制大学では、大学2年目からスタートとなったり、返還不要の奨学金が付与されたりしています。また、大学卒業に必要な単位として高校時代のDPの授業を認めてくれる大学もあります。なぜDP修了生がこのようなメリットを受けるかという、DPの内容が大学1年生レベル相当だと認識されており、これまでDPを修了した世界中の先輩方が素晴らしい活躍をしてくれているからです。DP修了生に対する大学からの期待の表れと言っていると思います。DPを教える教員が集まる会議に行くと、DP修了生は大学初年度の授業は面白くないと感じてしまうことがあるらしいということをよく耳にします。すなわち、DPでの学びは大学初年度の授業よりも刺激があるということを物語っているのかもしれない。

さて、DPは深い学びをするプログラムだということを理解頂けたと思いますが、当然その分各教科の課題量は多いです。また、授業以外の時間で前述した課題論文の調査・研究・執筆をしたり、継続してCAS活動を行ったりする必要があります。6年生の11月には世界共通の試験もありますので、時間を自分で管理できることが必須です。さらに、授業はほぼ毎日4セッション目まであり、英語で2科目(英語の授業ともう1科目)受ける必要があるため、一定の英語力が求められます。日本国内の大学入試制度に目を向けると、DPのスコア(※)による入試制度を整備する大学は増えつつありますが、数としてはまだ多くはありません。特に、特定の大学や学部を希望している場合、本校の授業科目では受験できないこともあります。また、DP修了生向けに特別な奨学金や単位認定などの制度がある大学は、残念ながらほぼありません。

裏面に続きます。



ここまで DP の学びと DP のスコアを用いた大学入試について概要を述べてきましたが、DP の学びに興味がある場合、いま何をすればいいのでしょうか。それは現在の自分としっかり向き合うことです。具体的には、現在の学びを怠らず、将来の自分のビジョンを持つことです。DP の学びは MYP の延長線上にありますから、MYP の学びが面白いと感じているのであれば、DP は非常にエキサイティングな経験となるはずですが、また、英語力は生涯にわたって必要なスキルですから、DP の学びに備えるということだけではなく、学習を怠らないことが大切です。さらに、先ほど述べましたが、本校の DP の授業科目では受験できない大学や学科もありますので、自分の将来(10年度や20年後)を見据えて、どのような大学に進学するのか、その大学は DP のスコアを用いた入試制度を実施しているのかなどについて調べてみるといいでしょう。今は DP に興味無いかもかもしれませんが、その魅力に気づくときが来るかもしれません。可能性を自分で無くさないように準備しておきましょう。わからないことや質問があればいつでも IB センターの DP コーディネーター(野村)まで来てください。既に2年生数名から相談を受けています。

(※)DPでは、各教科における課題と世界統一の最終試験の結果によって成績(スコア)が付与されます。

2. 2年宿泊研修の概要～開成史上初めての8コースでの実施～

11月25日(水)・26日(木)に2年生はニセコ宿泊研修へ行きました。今年度は例年とは違い、8つの行程で行われました。

25日は1グループ：rararafarm、2グループ：skijapan、3グループ：第2有島ダチョウ牧場、4グループ：杏ダイニング、5グループ：雪秩父・幽泉閣、6グループ：ニセコワイナリー、7グループ：高橋牧場、8グループ：hikobayu で研修をさせていただきました。現地でしか味わうことができない本物の体験を行うことができました。夜は高橋牧場の高井様から牧場経営やニセコで仕事をする事への想いなどお話をさせていただきました。



26日は前日に訪問をした方々をヒルトンホテルに招き、「私たちの考えるこれからの北海道・ニセコの姿」というテーマで提言を行ってきました。事前学習で発表スライドを key note で作成し準備を整え、ニセコの方々へ発表をすることができました。訪問先の方々からも、お褒めの言葉やアドバイスをいただいた発表会となりました。発表後は、高橋牧場へ向かうバスとニセコビュープラザへ向かうバスに分かれて、お土産を購入するなどお楽しみの時間もあり、充実した研修となりました。

最後に、色々な不安がある中で、無事に生徒が学校へ戻ってくることができて、安堵しております。今後は、研修で身に付けた知識や技能を更に活用させて、充実期へ進学していきます。今後ともご協力をお願い致します。また、宿泊研修の詳しい内容は、後日発行します。乞うご期待ください。

3. IB コラム⑧ 構成主義 (Constructivism)とは その2

昨今、AI の発展は目まぐるしく、現在ある仕事の半分は AI が代替していくと言われていています。このような AI を基盤とした社会においては、予測不可能な問題が次々と発生すると言われており、これらの問題に対応するためには主体的に考えたり、物事を深く考察したり、新たなアイデアを生み出したりする必要があります。必然的に知識は、それぞれの社会や組織の成員が合意形成を基に作り替えていくということが求められます。このようなスタイルのことを社会構成主義と呼び、IBでは、探究に基づいてアイデアを練り上げたり、構築したりすることを重要視しています。

※メールアドレス登録のプリントを 11/30 付で発行しております。もし 11/27 に全家庭に学校が発送したメールが届いていなければ、登録をお願いします。